

令和6年度 第1回佐賀市男女共同参画審議会

日時：令和6年9月10日（火）

10：00～12：00

場所：佐賀市役所 本庁舎2階 庁議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 委員紹介
 - ※ 委員名簿《資料1》 2ページ
- 4 会長・副会長の選出
- 5 議 題
 - (1) 令和6年度各種審議会等における女性委員の参画率について（報告）《資料2》 3ページ
 - (2) 第4次佐賀市男女共同参画計画（基本方向I～IV）の進捗状況について（報告）
 - 《資料3-1》 7ページ
 - 《資料3-2》 冊子B
 - (3) 男女共同参画に関する佐賀市職員意識調査結果について（報告）
 - 《資料4-1》 10ページ
 - 《資料4-2》 冊子C
 - (4) 男女共同参画に関する市民意識調査（案）及び中学2年生意識調査（案）
 - 冊子D
 - 冊子E
 - (5) その他
 - (6) 第4次佐賀市男女共同参画計画（基本方向V）の進捗状況について（報告） 冊子F
(当日配布)
- 6 閉 会

佐賀市男女共同参画審議会 委員名簿(*:新任)

令和6年8月現在 (五十音順)

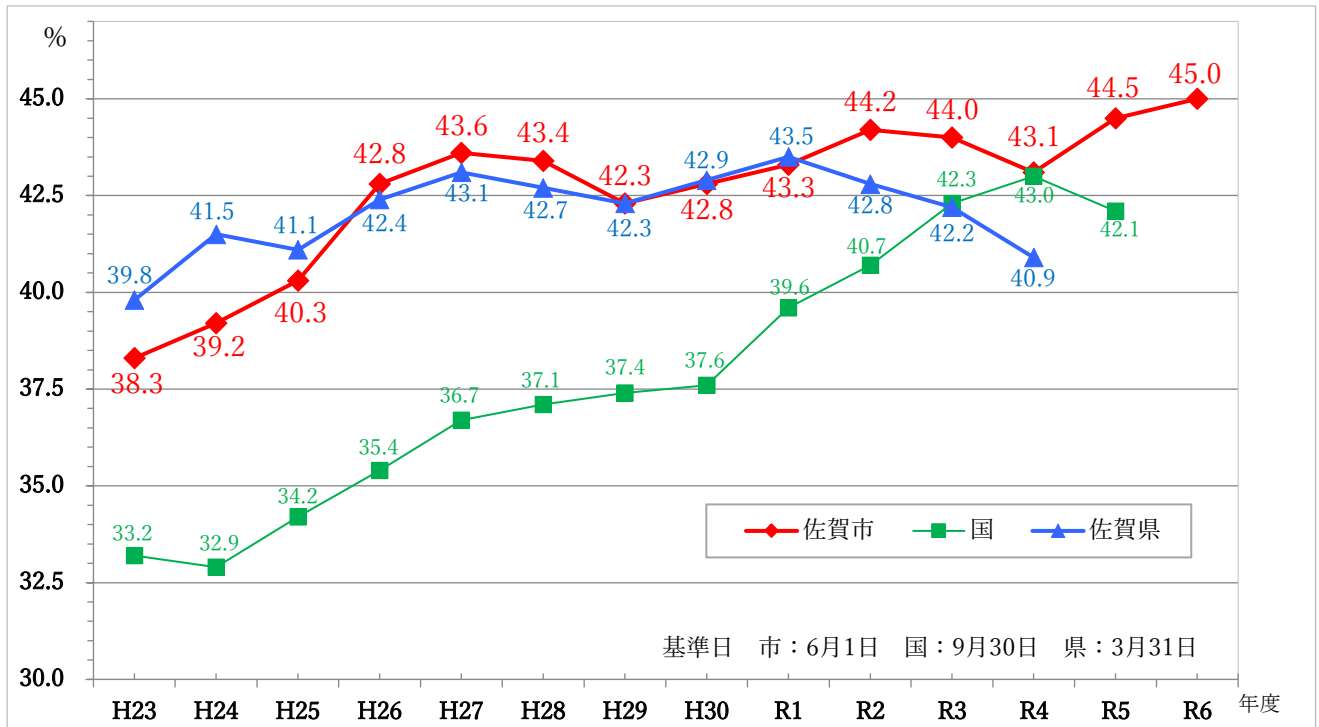
	氏名	分野	所属等
1	*内海 恵美子	男女共同参画推進団体	佐賀市男女共同参画ネットワーク
2	小城原 直	地域代表	佐賀市自治会協議会 会長
3	*木下 健一	教育	佐賀市PTA協議会
4	*黒田 彩	労働(経営者側)	佐賀商工会議所
5	*古泉 志保	公募	公募委員
6	*澁谷 健	教育	佐賀市立小中一貫校松梅校 校長
7	*田口 香津子	学識経験者	佐賀県立男女共同参画センター 館長
8	名和田 陽子	法律	佐賀県弁護士会
9	*野田 久美	有識者	野田建設株式会社(イマドキな職場大賞受賞) 総務部長
10	橋本 京介	労働(労働者側)	日本労働組合総連合会佐賀県連合会 東部地域協議会 議長
11	*長谷川 淳一	公募	公募委員
12	福田 京子	農業	佐賀県農業協同組合
13	福成 有美	女性人材リスト	女性人材リスト
14	*宮田 紗良	有識者	株式会社マクアケ 九州拠点責任者
15	*森 島 孝	有識者	特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン九州 共同代表

任期:令和8年6月30日まで

令和6年度各種審議会等における女性委員の参画率について

成果目標：43.0%以上（法令に基づくもの・令和7年度） 実績：45.0%（前年度に対して0.5ポイント増加）

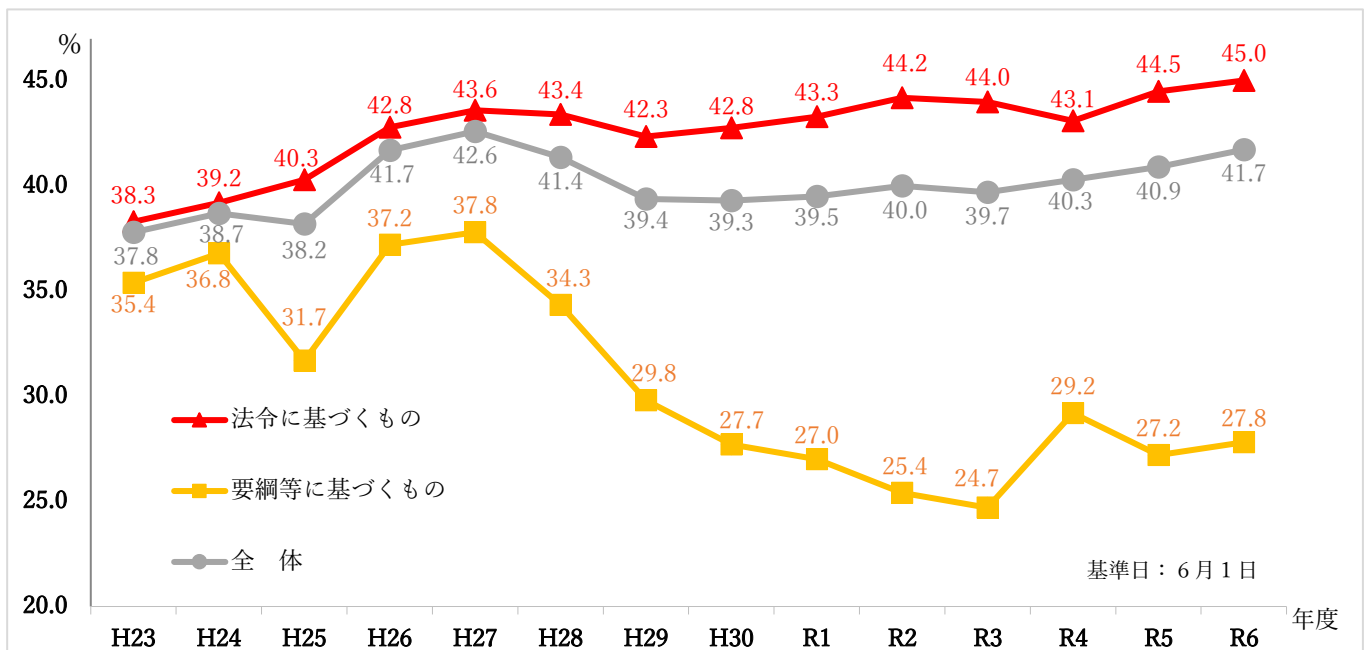
■法令に基づく審議会等における女性委員割合の推移



■女性委員の割合が低い審議会等（法令に基づくもの・20%未満）

名称	委員数	うち女性	女性委員の割合
佐賀市選挙管理委員会	4	0	0.0%
監査委員	2	0	0.0%
佐賀市農業委員会	24	2	8.3%
佐賀市防災会議	45	8	17.8%
佐賀市国民保護協議会	31	5	16.1%
佐賀市都市計画審議会	19	1	5.3%
佐賀市開発審査会	7	1	14.3%
温泉管理運営委員会	8	1	12.5%
佐賀市放置自転車等対策協議会	14	2	14.3%

■女性委員の割合の推移



■佐賀市各種審議会・委員会等における女性の参画状況（法令）

基準日：令和6年6月1日

1. 執行機関及び委員・相談員

0% 20%未満

No.	区分	名称	委員数	うち女性	女性委員の割合	担当課
1	①地方自治法 180条の5に基づく 行政委員会 または委員	佐賀市固定資産評価審査委員会	6	2	33.3%	市民税課
2		佐賀市教育委員会	5	3	60.0%	教育総務課
3		佐賀市選挙管理委員会	4	0	0.0%	選挙管理委員会
4		監査委員	2	0	0.0%	監査事務局
5		公平委員会	3	1	33.3%	公平委員会
6		佐賀市農業委員会	24	2	8.3%	農業委員会
小計		6	44	8	18.2%	
1	②法律に基づく 委員・相談員	行政相談委員	10	4	40.0%	市民生活課
2		人権擁護委員	23	10	43.5%	人権・同和政策課
3		民生委員・児童委員	528	300	56.7%	福祉総務課
4		障害者相談員(知的)	7	6	85.7%	障がい福祉課
5		障害者相談員(身体)	13	3	21.4%	障がい福祉課
6		スポーツ推進委員	112	38	33.9%	スポーツ振興課
7		社会教育委員	13	5	38.5%	社会教育課
小計		7	706	366	51.8%	
合計(①+②)		13	750	374	49.9%	

2. 審議会等附属機関及びその他協議会等（地方自治法第202条の3に基づくもの）

No.	区分	名称	委員数	うち女性	女性委員の割合	担当課
1	③法律に基づく 審議会、委員会等	佐賀市行政不服審査会	3	1	33.3%	総務法制課
2		佐賀市防災会議(会長を除く)	45	8	17.8%	危機管理防災課
3		佐賀市国民保護協議会	31	5	16.1%	危機管理防災課
4		佐賀市都市計画審議会	19	1	5.3%	都市政策課
5		佐賀市建築審査会	7	4	57.1%	建築指導課
6		佐賀市開発審査会	7	1	14.3%	建築指導課
7		佐賀市空家等対策協議会	11	4	36.4%	都市政策課
8		佐賀市民生委員推薦会	11	5	45.5%	福祉総務課
9		佐賀市国民健康保険事業の運営に関する協議会	17	5	29.4%	保険年金課
10		佐賀市有線テレビ放送番組審議会	10	4	40.0%	地域政策課
11		三瀬公民館運営審議会	10	4	40.0%	公民館支援課
小計		11	171	42	24.6%	
1	③条例に基づく 審議会、委員会等	佐賀市政治倫理審査会	9	4	44.4%	総務法制課
2		佐賀市情報公開審査会	5	2	40.0%	総務法制課
3		佐賀市個人情報保護審査会	5	2	40.0%	総務法制課
4		佐賀市公務災害補償等認定委員会	5	2	40.0%	総務法制課
5		佐賀市総合計画審議会	45	15	33.3%	企画政策課
6		佐賀市男女共同参画審議会	15	9	60.0%	男女共同参画課
7		温泉管理運営委員会	8	1	12.5%	観光振興課
8		佐賀市景観審議会	14	5	35.7%	建築指導課
9		佐賀市建築紛争調停委員会	5	3	60.0%	建築指導課
10		佐賀市放置自転車等対策協議会	14	2	14.3%	建設監理課
11		佐賀市環境審議会	17	8	47.1%	環境政策課
12		佐賀市生活安全推進協議会	18	8	44.4%	生活安全課
13		佐賀市予防接種健康被害調査委員会	7	2	28.6%	健康づくり課
14		佐賀市老人ホーム入所審査委員会	8	3	37.5%	高齢福祉課
15		佐賀市子ども・子育て会議	14	7	50.0%	保育幼稚園課
16		佐賀市スポーツ推進審議会	16	5	31.3%	スポーツ振興課
17		佐賀市文化財保護審議会	8	4	50.0%	文化財課
18		佐賀市立小学校及び中学校通学区審議会	5	1	20.0%	学事課
19		佐賀市中部学校給食センター学校給食運営委員	25	12	48.0%	学事課
20		佐賀市諸富学校給食運営委員会	10	7	70.0%	学事課
21		佐賀市富士学校給食運営委員会	18	13	72.2%	学事課
22		佐賀市川副学校給食運営委員会	14	10	71.4%	学事課
23		佐賀市市民総参加子ども育成運動推進委員会	37	13	35.1%	社会教育課
24		佐賀市立図書館協議会	10	6	60.0%	図書館
小計		24	332	144	43.4%	
1	④規則に基づく 審議会、委員会等	佐賀市教育支援委員会	22	14	63.6%	学校教育課
小計		1	22	14	63.6%	
合計(③+④)		36	525	200	38.1%	
法令に基づく (①~④)合計		49	1,275	574	45.0%	

■佐賀市各種審議会・委員会等における女性の参画状況（要綱）

基準日：令和6年6月1日

0% 20%未満

No.	区分	名称	委員数	うち女性	女性委員の割合	担当課
1	⑤要綱等に基づく委員・相談員	佐賀市まち・ひと・しごと創生推進会議	17	5	29.4%	企画政策課
2		佐賀市農業・農村活性化懇談会	11	5	45.5%	農業振興課
3		佐賀市農業経営改善計画認定審査会	15	2	13.3%	農業振興課
4		佐賀市青年等就農計画認定審査会	8	1	12.5%	農業振興課
5		佐賀市経営開始資金審査委員会	10	1	10.0%	農業振興課
6		佐賀市森林・林業再生計画推進委員会	11	5	45.5%	森林整備課
7		佐賀市まちづくりファンド活用事業審査委員会	4	2	50.0%	建築指導課
8		佐賀市公共事業評価監視委員会	8	3	37.5%	建設監理課
9		佐賀市水対策市民会議	27	3	11.1%	河川砂防課
10		佐賀市自然環境懇話会	4	1	25.0%	環境政策課
11		佐賀市エコプラザ運営委員会	10	5	50.0%	循環型社会推進課
12		佐賀市福祉・就労支援運営協議会	15	3	20.0%	生活福祉課
13		佐賀市健康づくり計画策定委員会	12	4	33.3%	健康づくり課
14		佐賀市地域包括支援センター運営委員会	16	9	56.3%	高齢福祉課
15		佐賀市発達障がい者トータルライフ支援検討委員会	21	7	33.3%	障がい福祉課
16		中央児童センター運営協議会	5	3	60.0%	子育て総務課
17		北部児童センター運営協議会	4	4	100.0%	子育て総務課
18		佐賀市市民活動プラザソフト事業選考委員会	5	2	40.0%	協働推進課
19		佐賀市市民活動応援制度審査委員会	5	1	20.0%	協働推進課
20		佐賀地区管理保全協議会	16	0	0.0%	歴史・文化課
21		公益財団法人佐賀市文化振興財団第三者評価委員会	8	4	50.0%	歴史・文化課
22		松原公園整備基本構想策定会議	10	2	20.0%	歴史・文化課
23		三重津海軍所跡保存整備指導委員会	8	1	12.5%	文化財課
24		佐賀市地域文化支援審査会	5	2	40.0%	文化財課
25		東名遺跡保存モニタリング委員会	7	0	0.0%	文化財課
26		東名遺跡整備指導委員会	8	0	0.0%	文化財課
27		学校総括安全衛生委員会	13	4	30.8%	学校教育課
28		佐賀市学校業務改善検討委員会	12	2	16.7%	学校教育課
29		佐賀市立図書館大規模改修基本構想・基本計画策定委員会	7	3	42.9%	図書館
要綱等に基づく(⑤)合計		29	302	84	27.8%	

全体(①～⑤) 合計	審議会・委員会等総数	78
	委員総数	1,577
	うち女性委員数	658
	女性委員の割合	41.7%

女性委員の割合の推移

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
法令に基づくもの	32.1%	37.6%	38.3%	39.2%	40.3%	42.8%	43.6%	43.4%	42.3%
要綱等に基づくもの	20.6%	37.1%	35.4%	36.8%	31.7%	37.2%	37.8%	34.3%	29.8%
全体	27.6%	37.5%	37.8%	38.7%	38.2%	41.7%	42.6%	41.4%	39.4%

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
法令に基づくもの	42.8%	43.3%	44.2%	44.0%	43.1%	44.5%	45.0%
要綱等に基づくもの	27.7%	27.0%	25.4%	24.7%	29.2%	27.2%	27.8%
全体	39.3%	39.5%	40.0%	39.7%	40.3%	40.9%	41.7%

事 務 連 絡
令和 年 月 日

団体名
〇〇 〇〇 様

佐賀市男女共同参画課長 橋本 裕恵
(公印省略)

審議会等における女性委員の選任について (お願い)

日頃から男女共同参画の推進につきましては、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市が将来にわたり活力ある経済・社会を創造していくためには、市の政策・方針決定過程へ多様な視点を導入し、幅広い議論を行っていく必要があります。また、行政への市民参加の観点からも、審議会等は市民の意見を的確に反映できるような委員構成である必要があります。

このため本市では、市の審議会等の委員における男女の人数を均衡させるため、女性の審議会等への参画率の目標値を43.0%以上と定め、積極的な女性委員の登用に努めているところです。

この趣旨を踏まえ、貴団体からの委員選任につきましては、会長職、副会長職に限定せず、可能な限り女性の適任者をご推薦いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

【問い合わせ】

佐賀市政策推進部男女共同参画課
TEL:40-7014 / FAX:29-2095
E-mail: danjo@city.saga.lg.jp

第4次佐賀市男女共同参画計画(R3~R7年度)の進捗状況について(報告)
【令和5年度実績】

① 成果目標における進捗状況

基本方向	No	成果指標	調査名等	基準値	実績値	目標値
					R5年度	
I 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり	1	「男だから、女だから」という理由により、自分の思い通りにならないことがあった市民の割合	佐賀市民意向調査	9.0% (R1)	7.1%	6.7% (R7)
	2	佐賀市男女共同参画を推進する条例の認知度		43.9% (R1)	—	50.0% (R6)
	3	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について反対する人の割合	男女共同参画に関する市民意識調査	70.3% (R1)	—	75.3% (R6)
	4※	男女共同参画に関心のある人の割合		60.4% (R1)	—	65.4% (R6)
II 男女がお互いを認め合う社会づくり	5	「男のくせに根性がない」「女には仕事を任せられない」など差別的な言葉を言われたことがない人の割合	男女共同参画に関する市民意識調査	62.6% (R1)	—	80.0% (R6)
	6※	学校生活の中で男女の差を感じる生徒の割合	男女共同参画に関する中学2年生意識調査	21.5% (R1)	—	16.5% (R6)
III あらゆる分野への男女共同参画を促す社会づくり	7	女性の審議会等への参画率(法令に基づく各種審議会・委員会等)	男女共同参画課	43.3% (R1)	44.5%	43.0%以上 (R7)
	8	男性の一日の家事関連時間「30分未満、全くしていない」人の割合	佐賀市民意向調査	48.9% (R1)	38.9%	45.2%以下 (R7)
IV 男女が共に働きやすい環境づくり	9	ワーク・ライフ・バランスの認知度	男女共同参画に関する市民意識調査	61.0% (R1)	—	71.0% (R6)
	10	「くるみんマーク」の認定を受けた市内事業所数	佐賀労働局公表	11社 (R1)	16社	15社 (R7)
	11	庁内の女性管理・監督職の登用率	人事課	15.1% (R1)	21.3%	25.0% (R7)
V ドメスティック・バイオレンス(DV)のない社会づくり	12	DV被害を受けた際に「我慢した」人の割合	男女共同参画に関する市民意識調査	18.8% (R1)	—	13.8% (R6)

●佐賀市民意向調査

第2次佐賀市総合計画の進捗を測るための調査／標本数 5,000人で毎年実施

●男女共同参画に関する市民意識調査

第4次佐賀市男女共同参画計画の進捗を測るための調査／標本数 2,300人で5年ごとに実施(次回R6実施)

●男女共同参画に関する中学2年生意識調査

第4次佐賀市男女共同参画計画の進捗を測るための調査／標本数1,800人で5年ごとに実施(次回R6実施)

【色の凡例】 目標達成(順調に推移) 目標未達成

【「—」】 意識調査の調査年度でないため、データなし

※第4次佐賀市男女共同参画計画で新たに追加した指標

②数値目標における進捗状況

I 人権の尊重と男女共同参画の意識づくり

重点目標	No	数値指標	担当課	基準値	実績値	目標値
					R5年度	
1 男女共同参画意識の醸成	1	パートナーデーの認知度	男女共同参画課	38.0% (R1)	—	50.0% (R6)
	2	男女共同参画に関する講座等の受講者数	男女共同参画課	1,283人 (R1)	1,112人	1,000人/1年 (R7)
	3	広報紙等への男女共同参画関係記事を掲載した公民館数	公民館支援課	30館/32館 (R1)	30館/32館	全公民館/1年 (R7)
2 性別にとらわれない教育・学習の充実	4	男女の人権を取り扱った人権ふれあい学級等の受講者数	人権・同和政策課	238人/1年 (R1)	324人	250人/1年 (R7)
	5	「男女共同参画社会へ～男女共同参画を推進する条例を知ろう～」を活用した授業の実施校	学校教育課	市立全中学校/1年 (R1)	18校/18校	全市立中学校/1年 (R7)
	6	教職員向け男女平等教育研修実施校	学校教育課	市立全小・中学校/1年 (R1)	小学校34校/35校 中学校17校/18校	市立全小・中学校/1年 (R7)
	7	男女の人権を取り扱った保育従事者研修の参加者数	保育幼稚園課	226人/1年 (R1)	156人	400人/1年 (R7)

II 男女がお互いを認め合う社会づくり

重点目標	No	数値指標	担当課	基準値	実績値	目標値
					R5年度	
1 性に関する理解の促進	8	「男女の性」「性的少数者(LGBTs)」等について掲載した便り等を発行した学校数	学校教育課	市立全小・中学校/1年 (R1)	小学校20校/35校 中学校 9校/18校	全市立小・中学校/1年 (R7)
	9 ※	性の多様性についての研修参加者数	男女共同参画課 /人権・同和政策課	222人/年 (R1)	303人	250人/1年 (R7)
	10 ※	メディア・リテラシーを扱った講座等の受講者数	男女共同参画課 /人権・同和政策課	—	317人	250人/1年 (R7)
3 生涯にわたる心と身体の健康づくりの推進	11 ※	専門職員等の訪問により育児不安を解消した割合	健康づくり課	97.7% (R1)	97.4%	99.0% (R7)
	12 ※	妊娠届出時の保健指導実施率	健康づくり課	100%/1年 (R1)	100%	100%/1年 (R7)

III あらゆる分野への男女共同参画を促す社会づくり

重点目標	No	数値指標	担当課	基準値	実績値	目標値
					R5年度	
1 政策・方針決定過程への女性の参画拡大	13	女性人材リスト登録者数	男女共同参画課	105人 (R1)	115人	145人 (R7)
2 家庭や地域社会における男女共同参画の推進	14	プレママ&プレパパサロン男性参加者数	保育幼稚園課	198人 (R1)	142人	200人/1年 (R7)
	15	男女共同参画に基づく講座を開催した公民館数	公民館支援課	全公民館 (R1)	31館/32館	全公民館/1年 (R7)
	16 ※	佐賀市防災会議における女性委員数	危機管理防災課	18.6% (R1)	17.7%	25.0%以上 (R7)
	17	佐賀市消防団における女性消防団員数	危機管理防災課	102人 (R1)	84人	112人 (R7)
	18 ※	女性など多様な視点をふまえた防災講座の開催回数	男女共同参画課 /人権・同和政策課	2回 (R1)	2回	1回以上/1年 (R7)
	19 ※	政治分野に関する講座等の開催回数	男女共同参画課	1回 (R1)	1回	1回以上/1年 (R7)

【色の凡例】 目標達成(順調に推移) 目標未達
【「-」】 意識調査の調査年度でないため、データなし

※第4次佐賀市男女共同参画計画で新たに追加した指標

IV 男女が共に働きやすい環境づくり

重点目標	No	数値指標	担当課	基準値	実績値	目標値
					R5年度	
1 事業所における男女共同参画の推進	20	佐賀市男女共同参画推進協賛事業所数	男女共同参画課	189事業所 (R1)	243事業所	266事業所 (R7)
2 女性の就労環境の改善	21	女性の活躍推進佐賀県会議へ会員登録した市内事業所数	男女共同参画課	140事業所 (R1)	203事業所	190事業所 (R7)
3 雇用における男女均等な機会と待遇の確保の促進	22	在住外国人対象の子育て支援事業開催数	国際課	4回 (R1)	4回	4回/1年 (R7)
	23※	放課後児童クラブの待機児童数	子育て総務課	142人 (R1)	0人	0人 (R7)
	24※	保育所の待機児童数	保育幼稚園課	126人 (R1)	0人	0人 (R7)
	25	介護予防教室における男性受講者の割合	高齢福祉課	10.5% (R1)	13.8%	13.0% (R7)
4 ワーク・ライフ・バランスの推進	26	ワーク・ライフ・バランスに関する研修会等の開催回数	男女共同参画課	2回 (R1)	1回	1回以上/1年 (R7)
5 農林水産業、商工業等における男女共同参画の促進	27	生産・販売に関する研修会等への女性参加者数	農業振興課	H27～R1年度のべ1,000人	R3～R5年度のべ872人 (R5:302人)	R3～R7年度のべ1,150人
	28	女性が含まれる認定農業者数	農業振興課	44経営体 (R1)	36経営体	54経営体 (R7)
	29	農業者年金の女性加入者数	農業委員会	58人 (R1)	64人	72人 (R7)
6 庁内における男女共同参画推進体制の整備	30	「男女共同参画課の窓から」発行数	男女共同参画課	12回/1年 (R1)	12回	12回/1年 (R7)
	31	出産補助・男性育児参加休暇取得率	人事課	93.3% (R1)	96.6%	100% (R7)
	32	男性育児休業取得率	人事課	13.3% (R1)	69.0%	20.0% (R7)
	33	職員一人あたりの年次休暇の取得日数割合	人事課	68.4% (R1)	72.9%	80.0% (R7)

【色の凡例】 目標達成(順調に推移) 目標未達成
 【「-」】 意識調査の調査年度でないため、データなし

※第4次佐賀市男女共同参画計画で新たに追加した指標

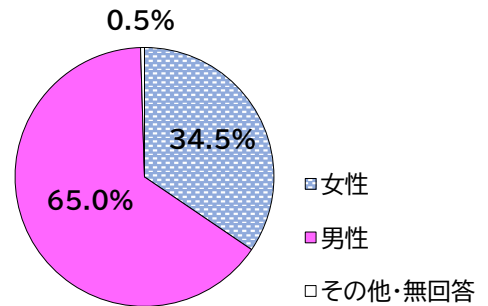
令和5年度男女共同参画に関する 佐賀市職員意識調査結果の概要

1 調査の設計回収

実施期間：令和5年8月18日～9月12日

回答率：85.07%

対象者	
全職員（企業局職員・派遣職員・再任用職員を含む）	1,929人
回答内訳	
女性	566人
男性	1,067人
その他・無回答	8人



2 調査結果

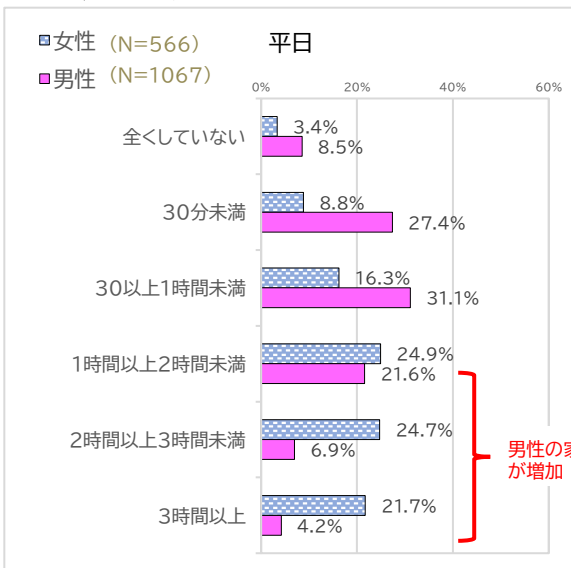
(1) 固定的な性別役割分担

- ・1日の家庭における家事時間について（1つ選択）

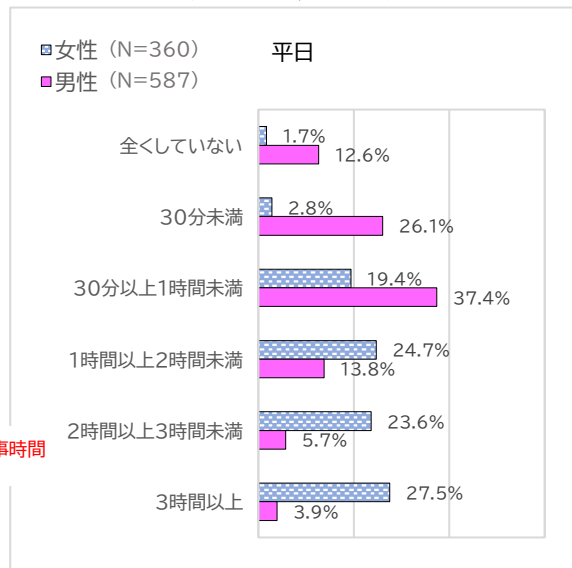
問6（冊子C - 21ページ）

平日の1日の家事時間には女性と男性で依然として大きな開きがあるが、前回調査と比較した場合、1時間以上家事をしている男性職員の割合が、すべての時間において増加している。

今回調査結果



前回（H30年実施）調査結果



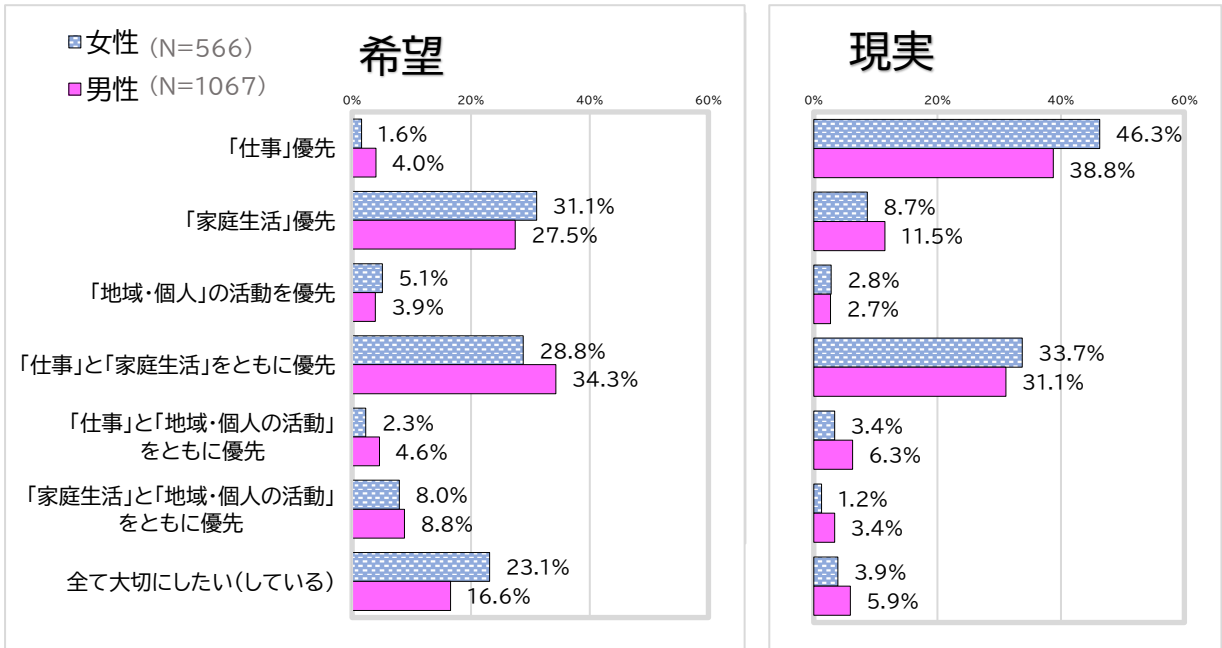
男性の家事時間が増加

(2) ワーク・ライフ・バランス

- ・「仕事」「家庭生活」「地域・個人の活動」の優先度について（1つ選択）

問7（冊子C - 22ページ）

「仕事」優先を希望する割合は少ないが、「仕事」優先になっている現実があり、希望と現実に差異がある。

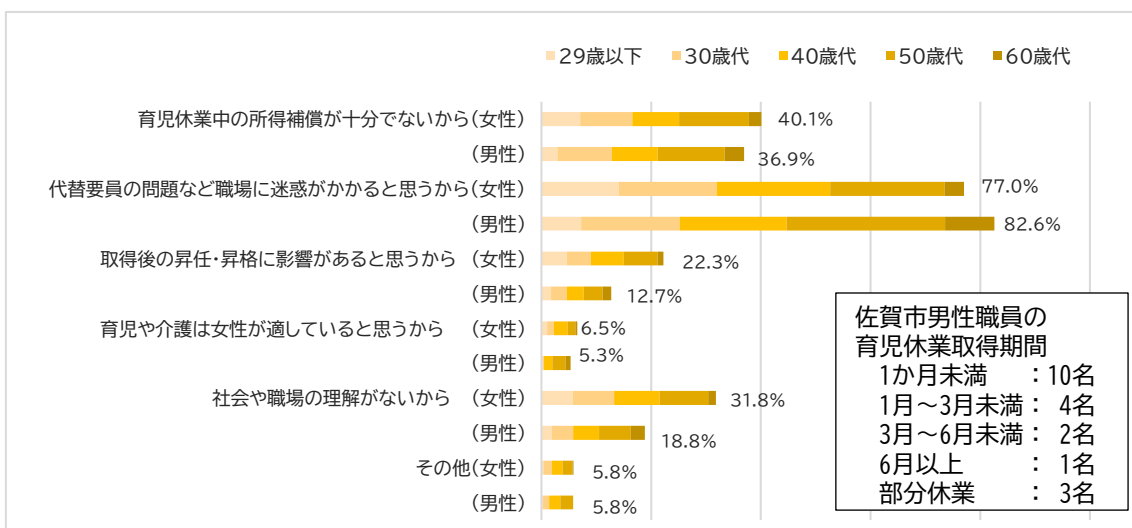


(3) 男性の育児休業

- ・男性が育児休業を取得できない理由について（複数選択）

問23（冊子C - 38ページ）

男性職員の育児休業の取得率が高い（69.0%）が、取得できない理由として、「代替要員の問題など職員に迷惑がかかると思うから」（女性職員 77.0%、男性職員 82.6%）と「社会や職場の理解がないから」も高率を占めている。（女性職員 31.8%、男性職員 18.8%）



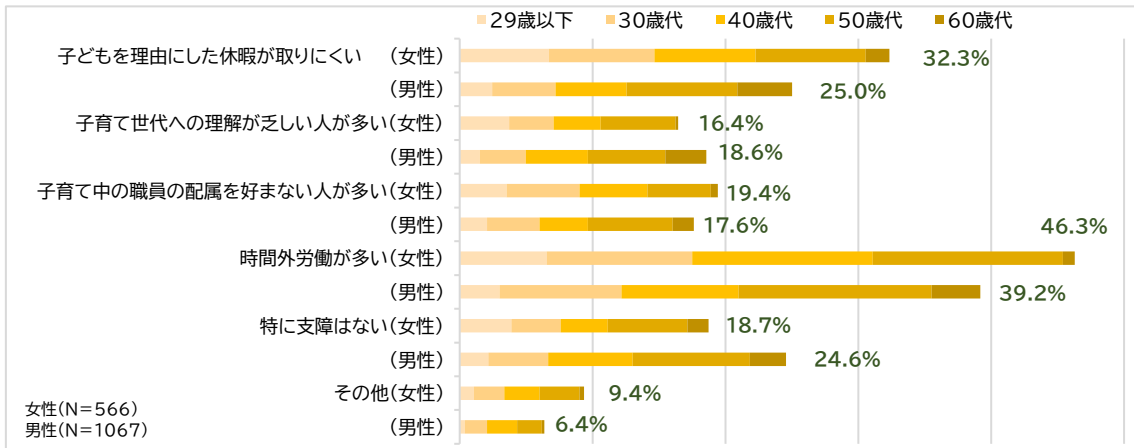
※参考 佐賀市の男性職員の育児休業取得率 69.0%(令和5年度)
 全国・市区町村の男性職員の育児休業取得率 42.6%(令和4年度)

(4) 子育てと仕事の両立

・子育てをしながら仕事を続けるために職場内でのどのような支障がありますか。(複数選択)

問25 (冊子C - 40 ページ)

女性職員、男性職員とも「時間外労働が多い」が最も多く、「子どもを理由とした休暇が取りにくい」が次に多くなっている。「子育て世代への理解が乏しい人が多い」については、女性職員より男性職員の割合が多くなっている。

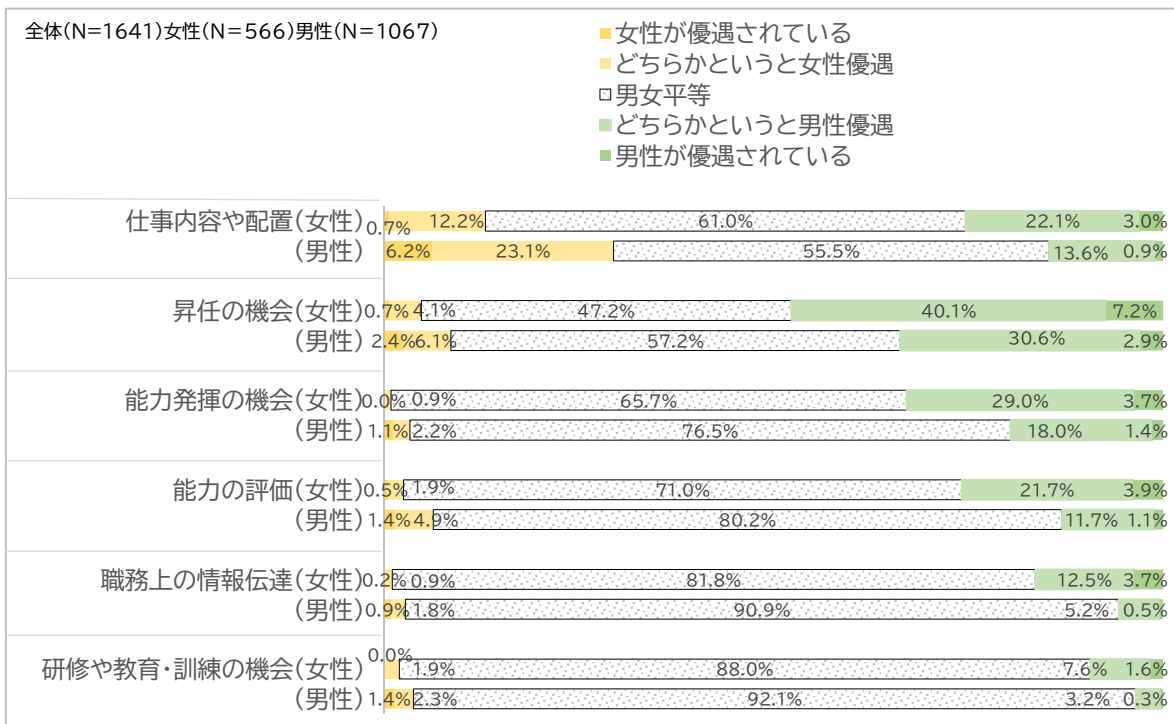


(5) 庁内の男女の平等度について

・庁内全体で、男女は平等になっていると思いますか。(それぞれ1つずつ選択)

問17 (冊子C - 32 ページ)

仕事内容、昇任機会、能力発揮、能力評価では、男女平等とする回答がおおむね5~7割、情報伝達、研修訓練では、男女平等とする回答が、おおむね8~9割であった。男女とも「昇任の機会」において男性が優遇されている(女性40.1%、男性30.6%)と感じている職員が多い。

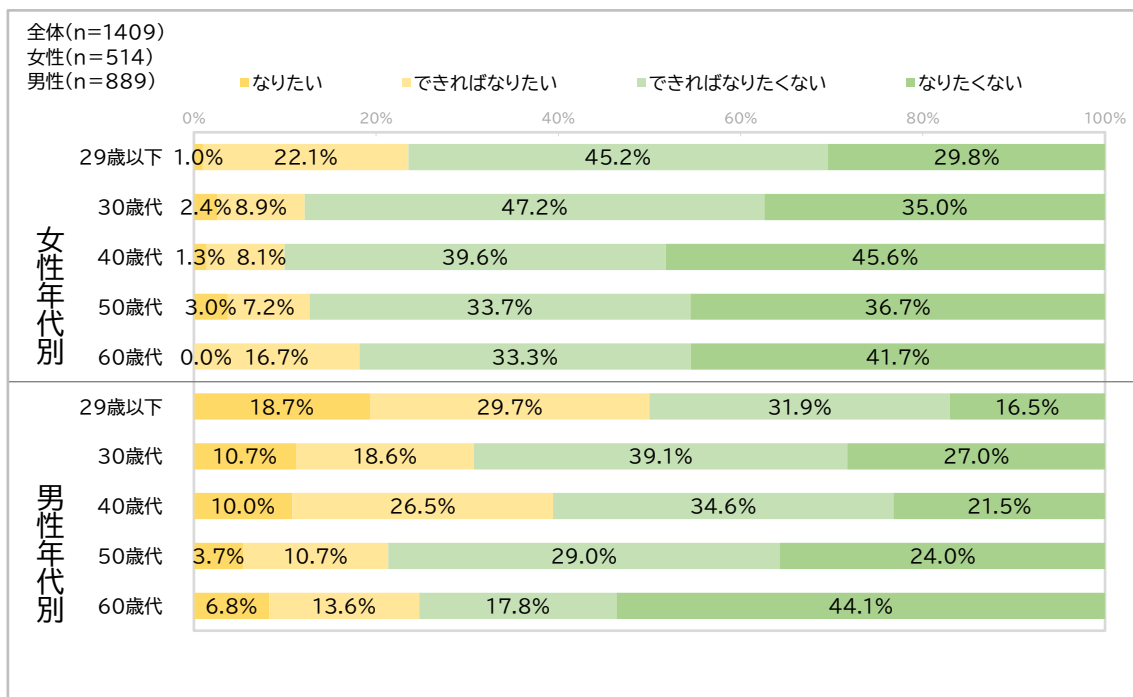
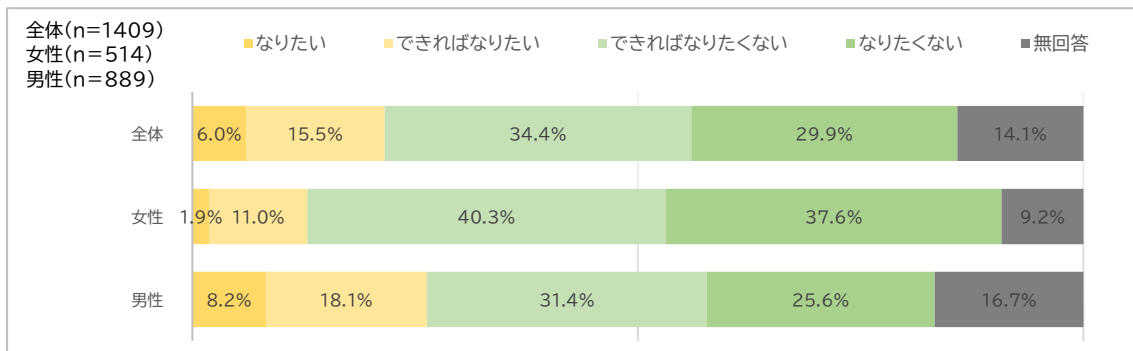


(6) これからのキャリア

- ・管理職になれるとしたらなりたいですか。(1つ選択)

問20 (冊子C - 34ページ)

「管理職に(できれば)なりたい」割合は、男性に比べると女性の割合が少なく、特に40歳の女性職員については、「管理職に(できれば)なりたい」という割合が少ない。



女性が管理職になりたい理由として

- 自分の成長につながると思うから・・・63.0% (男性 56.6%)
- キャリアの幅が広がるから・・・38.4% (男性 34.5%)
- 給料が上がるから・・・20.5% (男性 33.1%)

女性が管理職になりたくない理由として

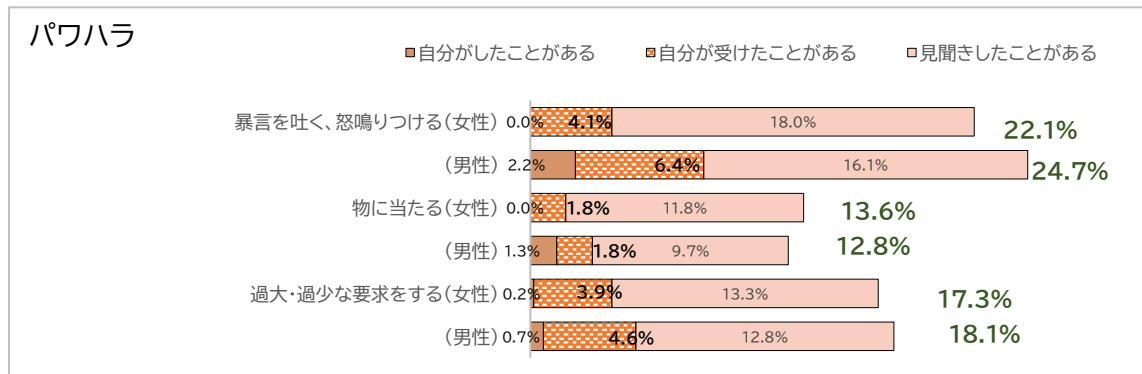
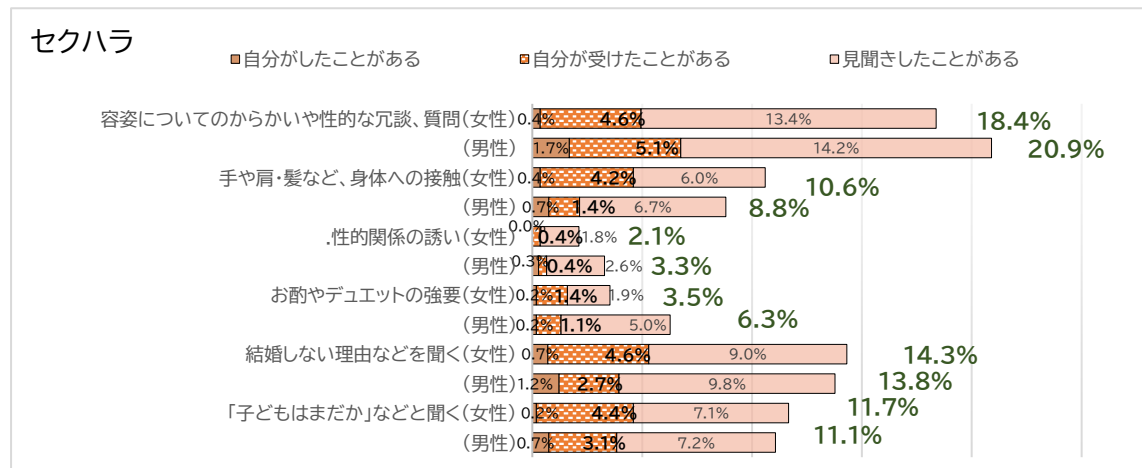
- 自分の能力に自信がないから・・・57.6% (男性 41.4%)
 - 責任のある立場は大変だから・・・44.7% (男性 45.2%)
 - 家庭生活との両立が大変だから・・・41.3% (男性 27.5%)
- があげられている

(7) ハラスメント

- ・1年以内に職場の人からセクシャルハラスメントやパワハラを受けたことはありますか。
(複数選択)

問26、28 (冊子C - 41、42 ページ)

「容姿についてのからかいや性的な冗談、質問」、「結婚や子どもの事など聞く」、「身体への接触」が一定割合 (20.9%~8.8%)、「暴言を吐く、怒鳴りつける」、「過大・過小な要求をする」などで少なくない割合 (24.7%~17.3%) で見受けられる。



ハラスメントを受けた際の対処方法として (482 回答)

- 我慢した 46.7% (女性 23.9%、男性 22.8%)
- 親しい同僚・友人に相談した 19.5% (女性 15.8%、男性 3.7%)
- 職場の相談窓口、労働組合、その他の相談機関に相談した . 8.2% (女性 4.9%、男性 3.3%)

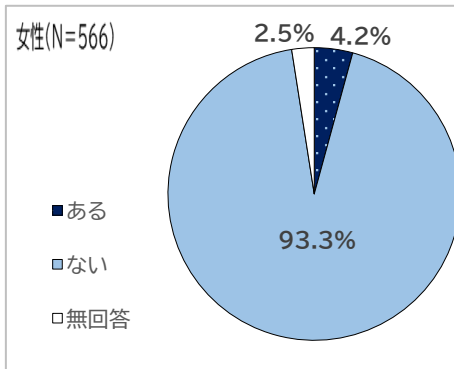
(8) リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

- ・生理休暇を取得しなかった理由を教えてください。(1つ選択)

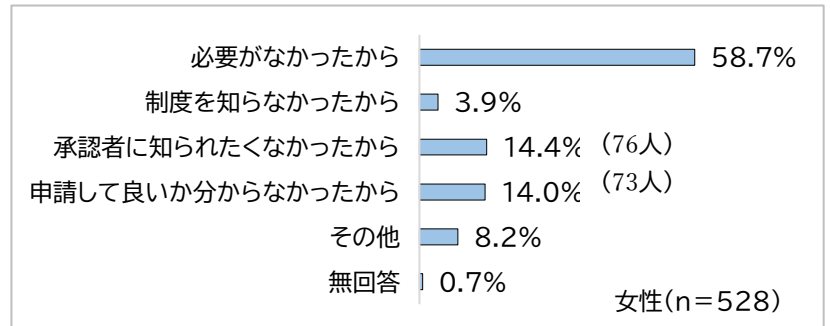
問18、19(冊子C - 33ページ)

承認者に知られたくない、申請してよいか分からなかったという回答が一定数見受けられ、有給休暇で対応したものと考えられる。また、「職場が取得できる雰囲気ではない」という自由記述も見られた。

1年以内に生理休暇を取得したことがありますか。



「ない」と答えた人で、取得しなかった理由を教えてください。



4 課題、取り組み案

- (1) 家庭での家事関連時間においては、男性の家事時間は微増しており、若干の改善がみられるものの、固定的性別役割分担により女性の家事時間は相変わらず多い。
⇒ 固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の解消に向けて、研修を実施する。
- (2) 仕事と職場の両立への支障として、「時間外労働が多い」のほかに、「子育て世代への理由が乏しい・休暇が取りにくい」などの回答が多い。
⇒ 「男性育休取得率の更なる向上を目指す」と市長が「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」において発信していることを踏まえ、父親が育児に関わることの大切さや楽しさについて発信し、「男性育休は当たり前」の風潮を醸成する。
職員間の情報共通が潤滑かつ関連に行われるよう、職員同士の活発なコミュニケーションを図り、風通しの良い職場風土作りに努める。